

# 新幹線500系こだま

## Aセット(1号車・6号車) Bセット(7号車・8号車)

### 共通組み立て説明書

#### 注意

お買い上げのお客様へ 必ずお読みください。

- 本商品の対象年齢は15才以上です。対象年齢未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- 誤飲の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。

#### 組み立てる時の注意

- 取り付け部を無理な方向に曲げたり引っ張ったりしないでください。
- 部品はプラスチック用ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった部分がありますので、気をつけて組み立ててください。
- シールは、必要な部分を切り抜いて貼ってください。
- 部品の加工の際の刃物、工具などのご使用にあたっては、それぞれの取扱い説明書をよく読んで正しく使用してください。
- Nゲージ鉄道模型のパーツなどのご使用にあたっては、それぞれの取扱い説明書をよく読んで正しく使用してください。

(お買い上げのお客様へ) 不都合な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

☎電話受付先) バンダイ お客様相談センター  
〒277-8511 柏市豊四季241-22 ナビダイヤル 0570-041-101

●受付時間 10時～17時(祝日、夏季・冬季休業日を除く)  
PHS、IP電話等ご利用の方は04-7146-0371におかけください。

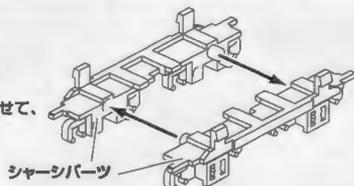
☎商品・修理品送付先) バンダイ 栃木修理・配送センター  
〒321-0298 栃木県下都賀郡壬生町おもちゃのまち5-4-67

●営業時間 10時～17時(土、日、祝日、夏季・冬季休業日を除く) 電話番号はお客様相談センター共通

#### シャーシの組立て

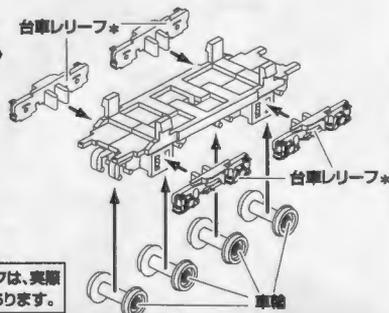
##### 1 <シャーシの組立>

●左右のシャーシパーツを合わせて、シャーシを組み立てます。



##### 2 <台車レリーフと車輪の組み立て>

●車輪と台車レリーフを取り付けます。



●説明イラストの台車レリーフは、実際の商品とは異なる場合があります。

#### 台車レリーフの向きに注意



#### カプラーの取付け方



- ドローバー  
●車同士を連結するときに使います。
- ダミーカプラー  
(先頭車前面などに使用します。連結はできません。)
- 自動連結器  
(客車・貨物車ほか)
- 自動連結器  
(客車・貨物車ほか)

## Nゲージ化用パーツの取り付け方法

●BTレインショーティは、動力ユニット(別売)を装着することで、Nゲージの線路上を走行させることができます。

#### 1 機関車への動力ユニットの取り付け

- 「BTレインショーティ専用・動力ユニット①」機関車用」を使用します。
- 通常色(黒)と、グレーがあります。
- 床板前後の穴と、左右2箇所(爪)で、車体と固定します。

- 床板(シャーシ)部分を外して、動力ユニットに交換・装着してください。
- スノープロウは着脱可能です。(カプラーポケットの溝に、爪をはかりと掛けてください。)
- EF200、EF210、DD53などでは、車体長が長いためカプラーの首振り量が十分にできません。直通運転や、短小カブ、Sカブ上では、連結が不安定な場合がありますのでご注意ください。

#### 2 電車・気動車及び路面電車への動力ユニットの取り付け

- 「BTレインショーティ専用・動力ユニット②」電車・気動車用」もしくは「同 動力ユニット④」路面電車用」を使用します。
- 左右4箇所(爪)で、車体と固定します。
- ゆるい場合には、両面テープなどで固定してください。

- イラストは「動力ユニット②」電車・気動車用」です。「動力ユニット④」路面電車用」には前後のカプラーはありません。
- 床板(シャーシ)部分を外して、動力ユニットに交換・装着してください。
- 台車側面に、台車レリーフを取り付けてください。(追加ウェイトは、走行状況に応じて使用してください。車内の空きスペースに、両面テープなどで固定します。)

#### 3 トレーラー(動力の無い車両)への台車の取り付け

- 「BTレインショーティ専用・走行台車③」を使用します。
- 付属の床板パーツを使用して、走行台車をセンターピン穴に装着してください。
- 取り付けが悪い場合には、走行台車の取付ピンを広く調整してください。
- 台車側面に、台車レリーフを取り付けてください。
- 旧タイプ床板では、台車の回転止めピンがあります。また、初代床板ではカプラー台座と車輪止め用ピンがありますので、走行台車と当たる部分は切り取って使用してください。
- 台車に取り付けた「台車レリーフ」が走行中に落下しないように、取り付けがゆるい場合には接着剤などを使用して固定してください。
- スカートのある先頭車に、動力ユニットや走行台車を取り付ける場合は、スカートを取り外すか、または台車のカプラー部分を切り取ってから装着してください。
- 新幹線など車体側にカバーのある車両では、台車レリーフを取り付けできません。

●本商品でNゲージ化する場合、連結パーツを使用しないで組み立ててください。

●各種の交換パーツについては、鉄道模型店、ホビーショップなどでお買い求めください。

- Nゲージ用の線路、コントローラーなどは、別途ご用意ください。
- 線路、コントローラーは、各社のNゲージ規格の製品が共通に使用できます。
- Nゲージにおける使用法は、各社・Nゲージの取扱い説明書をご覧ください。
- 走行条件によって、牽引できる車両の数は変わります。
- 動力ユニット1台で、通常は4両程度を牽引(自車含む)することができます。(勾配区間や急カーブのある線形では、牽引できる両数が制限されます。)

#### ■ KATO製の動力ユニットを使用することもできます。

①機関車用・動力ユニット(スカートは取り外してください)	●EF64e、DF50、DD53など、傾の低い車両に装着できません。
品番11-103 ポケットライン用動力ユニット	●11-103は、購入時にはカプラーポケットの内側にストッパー(プラ小片)が入っていますので、必ずストッパーを取り外してから装着してください。
②電車・気動車用・動力ユニット(台車レリーフは取り付けできません。)	
品番11-105 通勤電車①: コイルバネ台車タイプ	通勤電車①コイルバネ台車タイプ DT33タイプ 103系など
品番11-106 急行電車①: 空気バネ台車タイプ	急行電車①空気バネ台車タイプ DT32タイプ 165系、485系など
品番11-107 通勤電車②: ボルスタレス台車タイプ	通勤電車②ボルスタレス台車タイプ DT81タイプ 291系など
品番11-104 チビ客車用動力ユニット	●「チビ客車用動力ユニット」は、手すりを切り取って装着します。(車種によっては、床板の一部を取り除く加工が必要な場合があります。)
③トレーラー用・台車(台車レリーフは取り付けできません。)	
品番11-099 通勤電車①: コイルバネ台車タイプ	
品番11-098 急行電車①: 空気バネ台車タイプ	
品番11-097 通勤電車②: ボルスタレス台車タイプ	このほか、割り取り取り付け方式の、各社台車を取り付けることができます。

#### ■ バンタグラフの交換

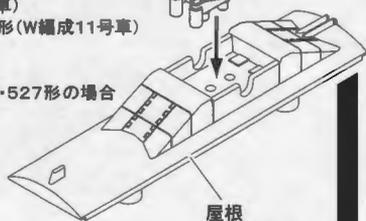
- お好みのNゲージ用バンタグラフを別途お買い求めの上、交換してください。
- KATO: 11-401 PS14: 直連バンタグラフ
- KATO: 11-403 PS22: 直連・下幹変形バンタグラフ
- KATO: 11-404、11-420 PS16: 直連バンタグラフ
- 11-420は、屋根穴が4個の屋根に対応します。
- グリーンマックス: 80-2: PS13: 直連バンタグラフ
- グリーンマックス: 80-3: PT42: 直連バンタグラフ
- グリーンマックス: 80-5: PT43: 直連バンタグラフ
- クロスポイント: PT71C: シングルアームバンタグラフ
- このほか、取り付けピンが2本方式の、各社バンタグラフを取り付けることができます。
- 各電の交換パーツは、メーカー、形式によって取り付けが異なる(悪い)場合もありますので、それぞれ調整のうえ取り付けてください。またパーツによっては加工が必要な場合もあります。
- 動力ユニットの装着には、車種によっては車体側の一部(ガラス、スカートなど)や、動力ユニットの床板などを切り取る等の加工が必要な場合があります。

# 中間車

527形(7号車)  
のぞみ 527形(W編成11号車)

7号車・527形の場合

パンタグラフ

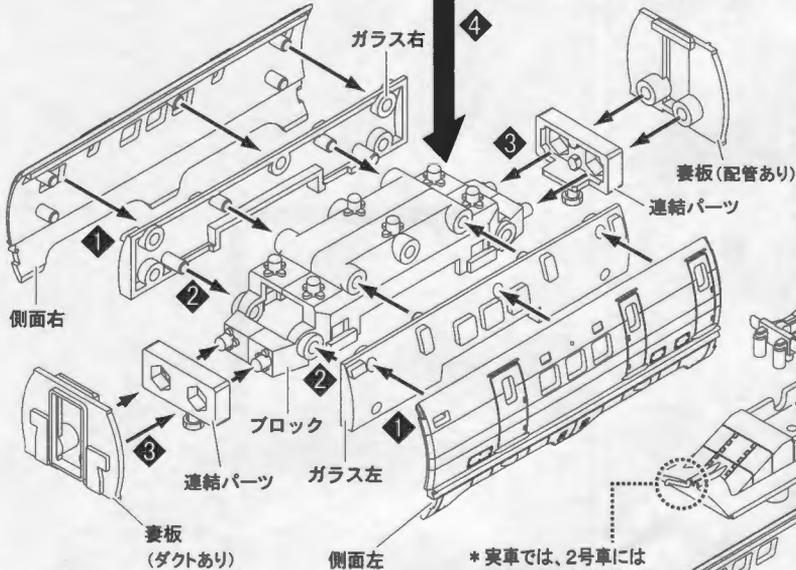


屋根  
(パンタ付き)

W編成11号車 527形の場合  
(ソケット大・小:妻面配管付き)



ソケット大  
(配管2本)



# 中間車

526形(2号車)  
528形(4号車)

※2号車の組み立てには  
Aセット、Bセット、両方の  
パーツが必要となります。



4号車・528形の場合

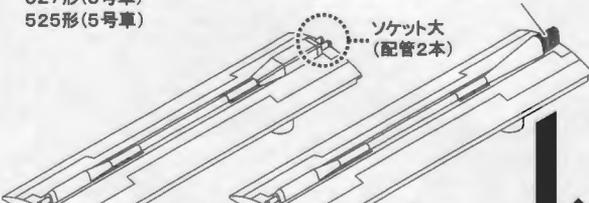
2号車・526形の場合

\*実車では、2号車には  
妻板へ降りる配管は  
ありません。

# 中間車

527形(3号車)  
525形(5号車)

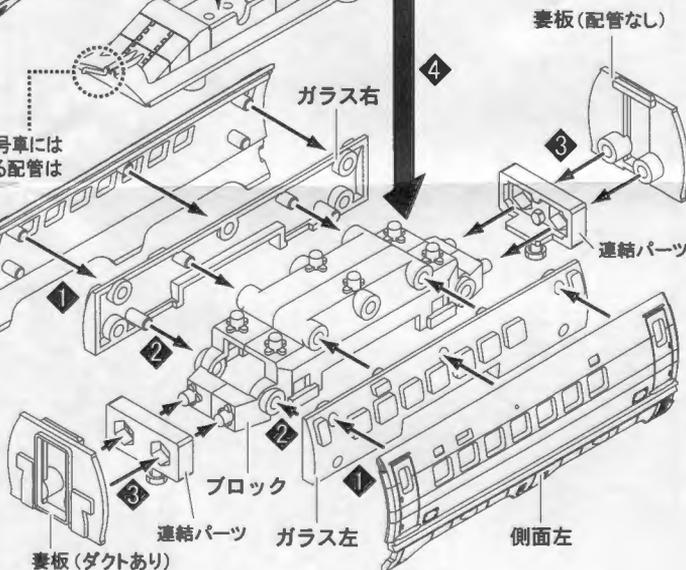
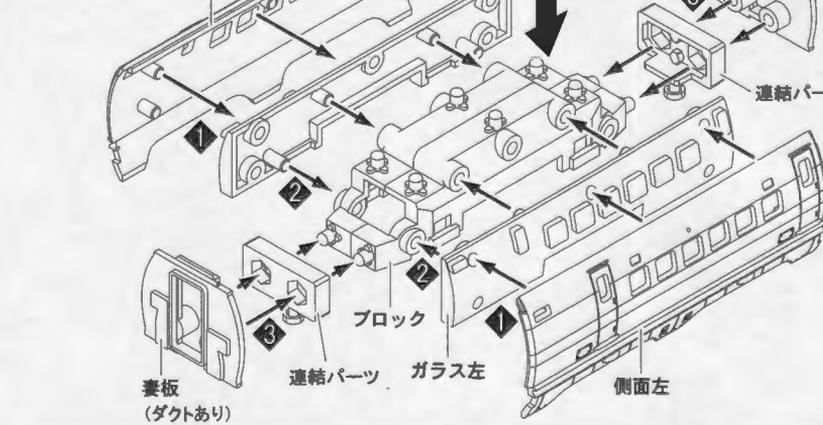
※5号車の組み立てには  
Aセット、Bセット、両方の  
パーツが必要となります。



3号車・527形  
の場合



5号車・525形  
の場合



ソケット大  
(配管2本)

妻板(配管なし)

5号車  
妻板(配管なし)

3号車  
妻板(配管あり)

妻板  
(ダクトあり)

ステッカーの貼付け位置

\* 貼り付け位置の参考例です。台紙からお好きなものを選んで、切り抜いて貼ってください。  
 商品仕様の仕様に、画像と一部形状が多少異なる場合がございますのでご了承ください。  
 (列物のお取り扱いには、充分にご注意ください。記載の無いものはお好みの位置にお貼りください。)

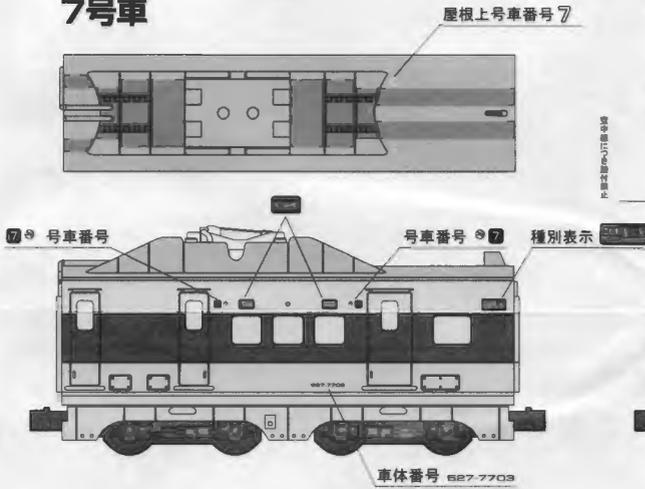
1号車



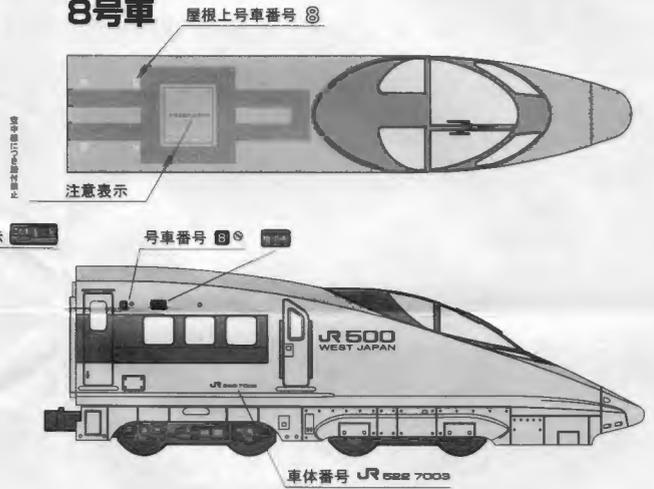
6号車



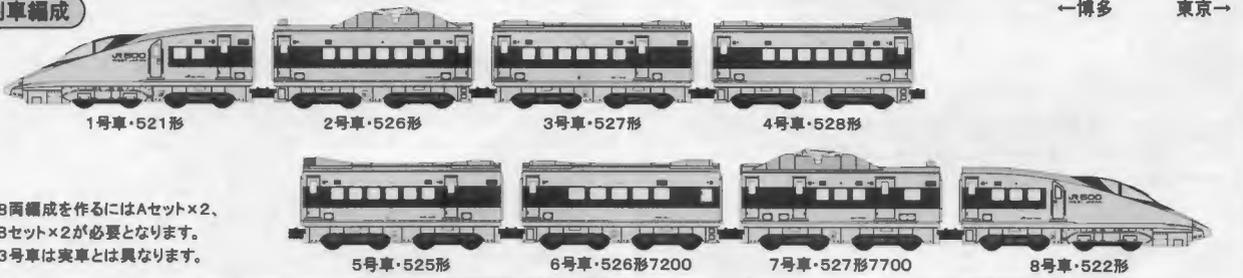
7号車



8号車



列車編成



※8両編成を作るにはAセット×2、  
 Bセット×2が必要となります。  
 ※3号車は実車とは異なります。

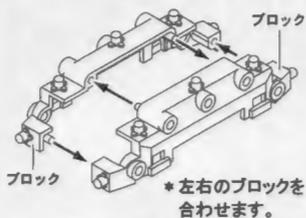
実車の編成例

\* 時期によって、編成や車体形状は変化していますのでご注意ください。  
 \* 記載されている編成の一部車両は再現できない場合があります。あらかじめご了承ください。

東海道・山陽新幹線 500系V編成

←博多				新大阪→			
1号車 Mc 521形	2号車 M1 526形	3号車 Mp 527形	4号車 M2 528形	5号車 M 525形	6号車 M1 526形	7号車 Mpkh 527形	8号車 M2c 522形
7002	7004	7003	7002	7004	7202	7702	7002
7003	7007	7005	7003	7006	7203	7703	7003
7004	7010	7007	7004	7008	7204	7704	7004
7005	7013	7009	7005	7010	7205	7705	7005
7006	7016	7011	7006	7012	7206	7706	7006
7007	7019	7013	7007	7014	7207	7707	7007
7008	7022	7015	7008	7016	7208	7708	7008
7009	7025	7017	7009	7018	7209	7709	7009

＜ブロックの組立て＞



車体の組立て

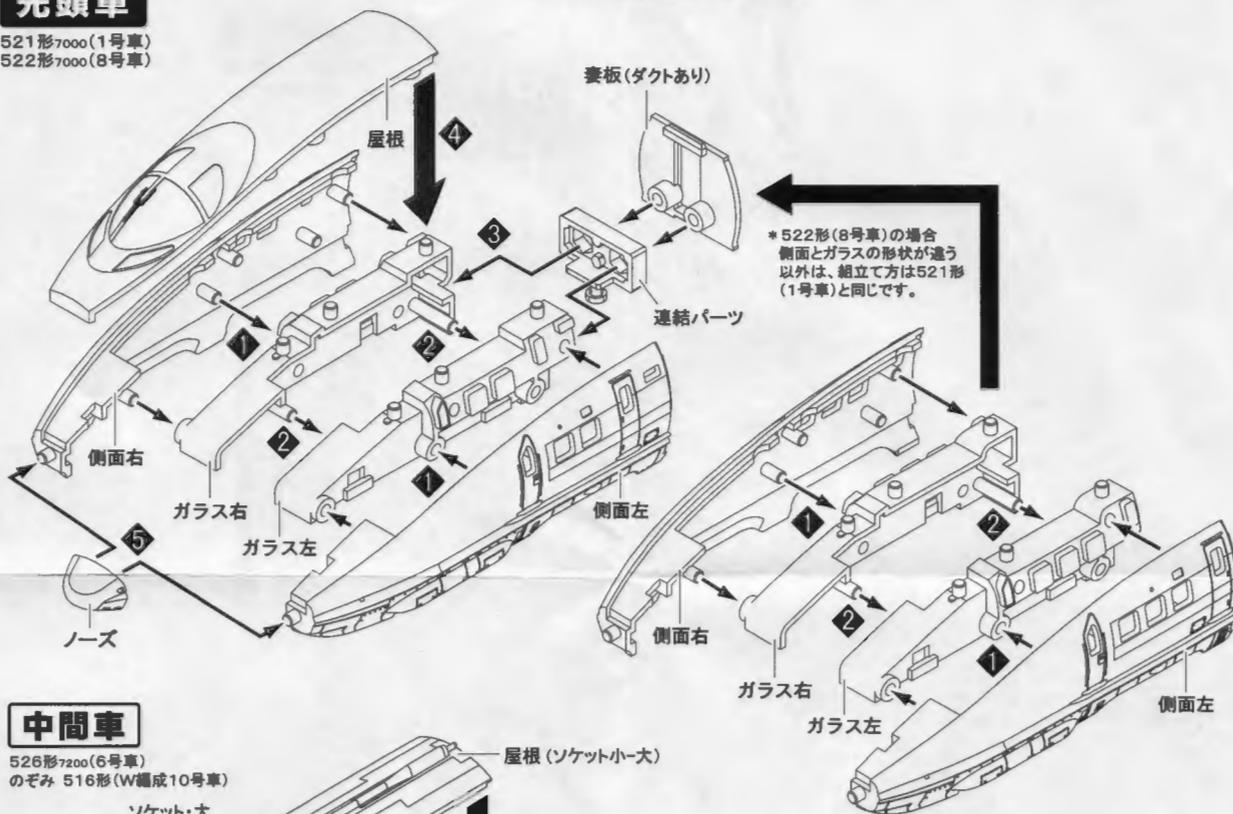
- ① 左右の側面に、それぞれガラスを取り付けます。
- ② 組立てた側面を、ブロックに取り付けます。  
(先頭車はブロックを使わずに、直接左右のガラスを組みます。)
- ③ 妻板裏面に連結パーツを取り付けます。
- ④ 妻板を取り付けます。  
(先頭車は後方1枚、中間車は前後2枚取り付けます。)
- ⑤ 屋根を取り付けます。  
(パンタ付きの車両はパンタグラフを取り付けます。)
- ⑥ 先頭車は、ノーズを取り付けます。
- ⑦ シャーシのツメに合わせて車体をかぶせて完成です。

\*取り付け部が固い場合があります。その場合にはドライバーの先などを利用して、しっかりと取り付けてください。

\*取説に記載されている車両は、パリエーション内の一部です。前面パーツ、屋根パーツなどは車種・塗装によってセットされているパーツが異なります。また、生産の都合上予備パーツが含まれている場合があります。あらかじめご了承ください。

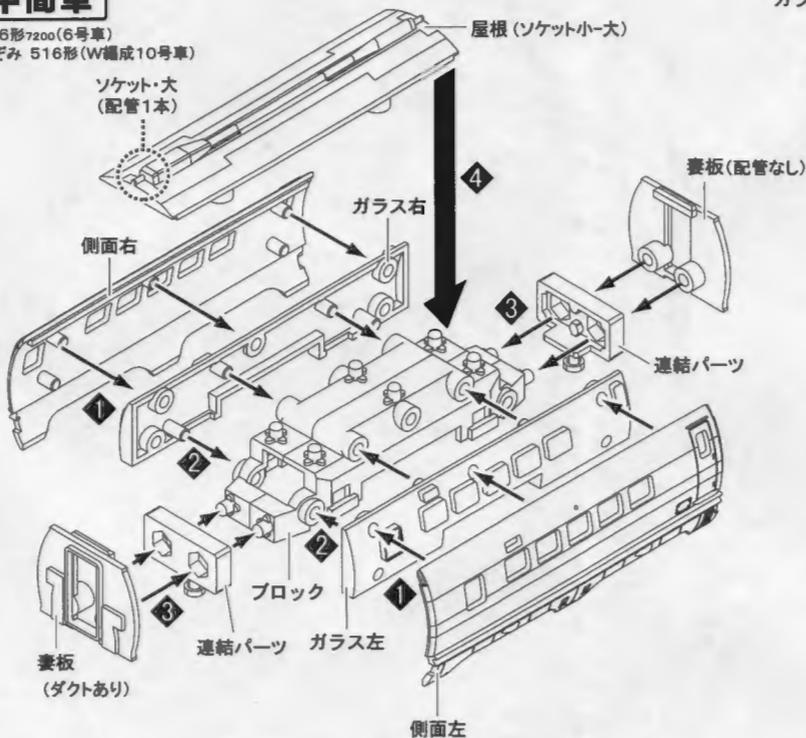
先頭車

521形7000(1号車)  
522形7000(8号車)



中間車

526形7200(6号車)  
のぞみ 516形(W編成10号車)



妻板について



